

# 消化器内視鏡検査

オリンパス製の最新の機器を導入し、検査は消化器内視鏡専門医が行います。

## 上部消化管内視鏡検査

咽喉頭、食道、胃、十二指腸までの観察が可能です。  
検査時間はほとんどの場合5分以内です。

経鼻内視鏡検査と経口内視鏡検査があります。

### A) 経鼻内視鏡検査 (写真：経鼻内視鏡)

鼻から、径6mmの内視鏡を挿入する方法です。

#### 長所

嘔吐反射がほとんどなく、喉の圧迫感も少ないので、非常に楽に検査できます。  
原則として鎮静剤は使用する必要がありません。

#### 短所

画像の解像度がやや低い(数年前の経口内視鏡と同程度)。  
止血やポリープ切除等の処置はできません。



### B) 経口内視鏡検査 (写真：経口内視鏡)

従来の方法で、口から内視鏡を挿入する方法です。

#### 長所

解像度が高く微細な病変まで観察が可能で、内視鏡手術なども可能です。

#### 短所

嘔吐反射、喉の圧迫感があり、鎮静剤の使用が必要になることがあります。



## 下部消化管内視鏡検査

肛門より内視鏡を挿入し、大腸全体と回腸末端を観察します。

(写真：下部内視鏡)

大腸ポリープの切除も可能です。  
大腸の癒着が強い場合は、鎮静剤の使用が必要になる場合があります。  
検査時間はほとんどの場合20分以内です。



検査機器 (写真)



内視鏡洗浄機 (写真)

ピロリ菌や肝炎ウイルス等の感染の危険性を完全になくするために、内視鏡洗浄機を使用して、完全滅菌を行っております。



検査ご希望の方は一度外来を受診してください。  
検査時の注意点等を詳しく説明します。